無題録

○…「常在戦場」は長岡藩牧野家の家訓だった。河井継之助、小林虎三郎、山本五十六など長岡出身の武士や軍人は「常に戦場にある心を持ってことにあたる」精神を大切にした。現代の政治家、とくにいつ解散、総選挙になるのか分からない衆議院議員もこの言葉が好きだ。自ら「常在戦場の精神で」などと言ってきた手前、安倍晋三首相による衆院解散、総選挙の奇襲作戦を正面から批判しにくくなったほどだ。首相は野党の準備不足を見越して「いまなら勝てる」と衆院を解散した。選挙は議員や政党のためではなく、主権者たる国民のために行うべきものだ。民意を正しく反映するには、与野党がしっかりと主張を展開し、国民がきちんとした判断を下せる時期を選ぶべきだが、今回は国民のためというより「首相の首相による首相のための解散」だった。

○…急な解散に野党はドタバタし、「直前の離合集散は選挙目当てだ」「野党は準備不足だ」といった批判を浴びた。解散したのに野党は準備不足という言い方は逆だ。野党が準備不足だから首相は解散したのだ。野党は「常在戦場」と言ってきたため、「準備不足でした」と認めにくいだけだ。衆院選で自民党は解散前と同じ二百八十四議席を確保した。公明党を加えた与党は衆院の三分の二以上の勢力を維持した。与党大勝の功労者は解散の判断を下した首相ということになるのだろう。影の功労者は民進党を壊した前原誠司代表と、野党を分裂させたうえ希望の党の人気も失速させた小池百合子東京都知事だ。

○…三条の経営者が衆院選を企業経営に当てはめて見ていた。政界のトップブランドは自民党。トップ企業はシェアを守るため、できるだけ多くの顧客に支持されるような総花的な戦略をとる。希望の党や維新の党はそれを追いかける新興企業。マイナーブランドでありながらトップブランドとの違いが明確ではなかった。似たような路線ではトップが大きなミスをしない限り、マイナーが伸びることはない。その点、同じマイナーブランドでも立憲民主党はトップブランドとの差別化や棲み分けが明確だったため、一定の支持を集めることができたという。マーケティングの視点からも衆院選の結果は分析できるらしい。

（S）

合流点

議員報酬に見合う働きをしたと言えますか

（田中満男、本多啓三、本多隆峰、小熊正、赤川幸子）＋一人。「自転車競技法第一条（目的）」をも軽視する議員は「議員」と言えるのでしょうか。単なる圧力団体に過ぎない？

九月議会での本多啓三氏の発言要旨は「一般会計への繰り出しは優先事項ではない」、その根拠も示さない無責任発言。役場総務課長、副村長を歴任してきた人の発言とは思えないのです。競輪の歴史の表も裏も知る花井議員まで反対に回るとは情けない限りです。

平成十八年六月定例会「競輪特別委員会審査報告」で、「記念競輪」では最近の他場の例では収益率は五%、売り上げ九十億円とする、収益は四億五千万円見込まれると報告されています。

さらに平成二十年六月定例会「競輪特別委員会審査報告」に「ふるさとダービー」（特別競輪）の売り上げは百十六億円で、約六億円前後の黒字の見込みとの報告。決算における一般会計への繰出金はゼロ。「寛仁親王杯」を平成二十三年から四年連続開催したにもかかわらず、一般会計への繰出金はゼロ。議会での責任追及はなかったようです。当時から議会の最も重要な役割（チェック機能）を果たしていなかったことは明白です。

弥彦村のホームページを見ると、村議会議員の仕事は（1）議案等の議決、条例の制定、改正、廃止。以下省略、（2）村政の調査と検査・事務の執行状況及び出納の検査や、監査委員に専門的な監査を請求するなど村政が公正かつ効率に運営されているかを検査します。（3）国や県への意見書・要望書の提出と決議、（4）村民からの請願書・陳情書の審査。

「本議会」とは別に設置される「各委員会」は、専門的、効率的に詳しく審査する。「競輪特別委員会」もそのひとつです。「競輪特別委員会」で一般会計への繰出金がゼロの原因を専門的に詳しく審査しないで、何のための委員会なのですか。議員の役割を自ら放棄しているのではないでしょうか。

村議会議員であっても「特定分野の専門性」が求められており、「議員報酬」はその対価なのです。定年後の片手間仕事ではありません。

弥彦村議会に求められている最重要課題は、弥彦村の衰退・消滅を防ぐため、皆で痛みを伴う改革に長期的視野で取り組むことです。最も大切なことは弥彦村の行方であり、自主財源の確保を含め、どのような政策が必要か「議論を尽くし、実行に移す場が議会」ではないでしょうか。

「議会軽視」、逆に言うならば「村民不在」ではありませんか。そっくり五人組にお返ししまえば、議会費の総額は六千五百万円、そのうち、議員にかかわる費用は議員報酬・期末手当・勤勉手当・共済費等で推定四千五百万円もの血税の大半をドブに捨てているのです。各議員は何を専門的に研究・提案し、何を村民に還元したかを支持者・村民に公開（議会報告など）する義務があります。

村民の血税を投入するに値する村議会でしょうか。次の選挙で五人組に反対票を投じることができない村民は「議会費に相当する税金の納税拒否」をするしか意志表示の方法は残されていないようです。（弥彦村・損傷怪不要の村民）

栄公民館展で宗徧流茶席

三条市栄公民館（齋藤真佐男館長）は栄公民館展の会期中の二十九日午前九時から午後三時まで農村環境改善センター和室会議室でお茶席を開なす。

お茶席は栄公民館展に合わせて毎年開いており、今回も栄地区で宗徧流を指導している小林八重子さんが立礼席でもてなす。

茶席券は三百円。ただし、中学生以下は無料。茶席券は当日会場で販売する。

女性支持率 K No.1!!
株式会社 県央代行
☎0256 36-6611
月～土曜 PM2:00～AM3:00
日曜・祭日 PM2:00～AM2:00 予約歓迎

あさみたとうサン

きざきのぼる